広報にいつ

発行所 新津市役
発行人 新津市役
市長 公
電話 代表 560
印刷所 東洋館印刷
毎月一回発行

人口動態
(昭和37年3月末日現在)

人口	57,25
世帯数	10,99

(11月中)

出生	92	死亡	[illegible]
婚姻	34	離婚	[illegible]
転入	251	転出	[illegible]

昭和37年度予算成立

三月三十日に決った三十七年度一般会計の才入は総額六億二千四百一六万余円でその主な内訳をみると図表一のとおりで市税が全体の約三四%を占め、次いで市債（長期借入金）が約一六%国か

収入

三十パーセントも国に依存

市民税、世帯当たり九六四五円

町づくりのため 納税にご協力を

らの補助金とか負担金が一五%、地方交付税が一五%で、国県の支出金と交付税を合せると約三〇%にもなり、市の財政は大きく国に依存していることがわかります。その他の収入の一億円余の内訳は、県からの補助金や負担金が二千六百万円余で、次いで繰越金千五百五十万円、使用料手数料が千四百九十万円などとなっています。

なお、市債をこれだけよけいに見込んだのは、学校建築、市庁舎建設、野球場建設、し尿処理そうなどの恒久的な事業を予定しているためです。

また、市税収入のうち税目毎の内訳をみますと図表二のとおり、市民税が、税のうちに四五%以上を占め、固定資産税が三六%強です。これを人口一人当りにしますと、市民税では一千八百六十七円、固定資産税は一千四百九四円となります。また、世帯当りにみますと市民税では九千六百四五円、固定資産税は七千七百一九円となっています。これは決っして少い金額ではありません。しかし、前月の広報でもお知らせしたとおり、市民税では税制の改正によって約八百余万円の減税を行った結果なお、所得の延びなどが相当ありますので、このような数字となったものです。個々の計算は前月の広報によってやってみていただきたいと思います。

住みよい郷土、明るい町をつくりあげるために納税のご協力をお願い申上げます。

工業高校建設と国体 準備を進める年

新陣容で諸問題を解決

昭和三十七年度は、市長就任後初の年度であり諸般の情勢から市勢の大飛躍への転機の年たらしむべき年度であろうとも考えまして、強い決心と熱意をもって諸施策の計画と予算の編成を行ったのであります。

すでにご承知のように三十七年度は、多年の要望によって実現される県立新津工業高校建設の第一年度であり、更に昭和三十九年六月新潟県に開催される国民体育大会において、当地が高校軟式野球並びにボクシング競技開催地として指定されているための受入れ体制整備のための諸般の施策を考慮すべきときでもあり、また、かねてからの懸案でありました市庁舎の増改築、し尿消化槽の設置等重要施設を本格化する年度と考えるのであります。

一方、市勢の発展と逐次複雑化しつつある市行政の実態にかんがみ、現在各方面の要望である市民サービスの合理的改善と行政事務能率の向上を図り、更に市職員の心気の刷新と、清新発剌たる気運を期待して、市役所機構の一新、事務態勢の強化を計りたい所存であります。

また、明るい教育環境をつくるべく小中学校の増改築、道路、橋梁、環境衛生の整備、目下の重大施策である農業問題や中小企業の対策、観光施設の整備、そして市民の待望してやまない工場の誘致等山積する諸問題解決のために不退転の決意をもって事に当る考えでありますので、何かのご指導とご協力を、お願い申上げる次第であります。

（昭和三十七年度予算審議に先立ちなされた市長の事業計画と予算編成方針の中から抜粋）

支出

二小を全面改築 二か年計画で

教育費31%にふくれる

一般会計の款（かん）毎の予算は右下表のとおりであります。なお特別会計の関係は前月号のとおりです。

教育費が予算の中に占める割合はいつもぼう大な額ですが、本年は例年より更に多い三〇・九%と昨年に比較しても一二%もよけいになっています。

これは、第二小学校の全面改築、小合西小学校の体育館の改築など大きな事業を、校舎建築五か年計画に基いて事業をすすめる予定であるためです。

小中学校の児童生徒の数は、本年は小学校が五三四名減、中学校は三三三名増となりましたが、三十八年度からは中学校でも次第に生徒が減る傾向があり、四十一年度以降になると大きな変動はないものと見込まれています。しかし、こうした将来のことを考えてもなお、危険校舎の改築、特別教室の増築、適正規模になっていない体育館の改築、更に独立した幼稚園舎の建設など約五千七百坪あまりの建築が必要とされる現状です。

校舎の増改築には、前にも書いたとおり、ぼう大な資金がかかりますので、年次計画を樹ててやっていく必要があり、また長期借入金（起債）と補助金をできるだけよけい貰わないとやっていけません。市としては、本年度の計画に基いて国・県と接渉し、最大限の財源確保につとめていく考えですが、いまのところ全部確定したわけではないので、増改築計画も一部手直しを必要とするようになるかも知れませんが、本年度予算化した計画は次のとおりです。

第二小学校改築一期工事
鉄筋三階建　教室一四
管理室など
計六二四坪

小合西小学校体育館一期工事
鉄骨づくり　一二〇坪

第一中学校

金津中学校
木造平家建　教室二
準備室二　その他
計　一〇八坪

結小学校
木造二階建　教室二
六〇坪

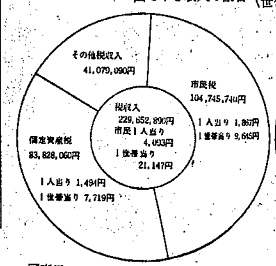
阿賀小学校
木造二階建　教室二
六三坪

新関小学校
木造二階建　教室二
五〇坪

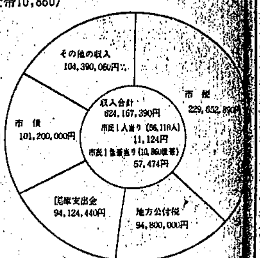
満日小学校体育館
鉄骨づくり　一二〇坪

第二中学校体育館
鉄骨づくり　二〇〇坪

図でみる収入の割合（人口56,110 世帯10,860）



図表二



図表一

項目	予算額	1000分比
議会費	14,293,080	[illegible]
市役所費	91,529,390	[illegible]
消防費	18,407,830	[illegible]
土木費	39,043,930	[illegible]
失業対策費	18,638,960	[illegible]
教育費	192,745,980	[illegible]
社会及労働施設費	126,756,040	[illegible]
保健衛生費	46,842,530	[illegible]
産業経済費	48,366,100	[illegible]
財産費	3,516,710	[illegible]
統計費	344,000	[illegible]
選挙費	2,024,490	[illegible]
公債費	11,195,030	[illegible]
諸支出金	10,240,210	[illegible]
予備費	223,110	[illegible]
計	624,167,390	[illegible]

工業高校本年度に建設

準備に二千万円

県立工業高校は西金沢地内に本年度建設されますが、国県とも、市負担をできるだけ軽減するように考慮してくれることになっていますので、地元負担金はとりあえず二千万円を計上し、受入れ準備の態勢をととのえ、今後、国県の方針が決まり、話しあいの結果、更に資金が必要となるときは追加をする予定です。

このほか、当面する入学難緩和の対策として、新津高校の学級増が認められていますので、この必要経費も予算に計上してあります。

五中プール 三六六万円

第五中学校にプールを建設するため学区の方々から非常な協力をいただいておりますが、地域児童の保健体育向上のために三百六六万余円の予算を計上して具体化をはかることになりました。

市庁舎 鉄筋三階建

昭和三十六年度から二か年計画で増築される予定であった市役所庁舎は起債などの見とおしがつかなかったことや、そのほかの理由で実現しませんでしたが、三十七年度からは本格的にこれを実施する予定で二千四百余万円を計上しました。

庁舎の構想は昨年六月の広報でお知らせしたとおり、現在工務課などのいる分館をとりこわし、このあとに鉄筋三階建（中四階建）延六百坪余の近代的な庁舎を予定しています。

その他の事業

三十七年度に予定している事業で本号に記事となっていないものの主なものに次のようなものがあります。

種目	金額
消防署庁舎増築	500,000円
小型動力ポンプ購入	1,300,000円
防火水槽、消化栓など整備	800,000円
水防倉庫建設	400,000円
産業道路築造整備	3,135,000円
道路舗装など	8,863,200円
橋梁改良整備	5,091,300円
金津川護岸工事、床固	440,000円
普道下興野線築造	655,000円
排水路、側溝、樋管など	1,602,700円
勤労者厚生施設建設	700,000円
病虫害防除薬剤	2,500,000円

八十万円で

公民館の自動車は、以前水道課の事業用として使用していたものを転用したもので、大部古くなり、維持費もずい分かかるようになってきたので本年度八十万円の予算で新規のものを購入し、移動公民館として活用をはかる計画です。

ステレオを寄付

四之町の土田賢次郎氏（土田洋服店主）は、青年研修所の備品として、エコー（残響）装置付のステレオ一台を寄附されました。

市ではこの好意に感謝して同日付で感謝状を贈りました。

買収供応追放標語募集

選挙の際の買収供応を追放する運動を進めるため標語が募集されます。

〆切り　五月十五日
宛先　東京都千代田区日比谷公園、東京市政会館公明選挙連盟
用紙　官製はがき一枚一句、二枚まで